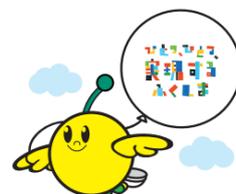


# 福島県保健師通信 Vol.1



令和7年度福島県保健師への合格おめでとうございます！

皆さん、初めまして！福島県庁保健福祉総務課の佐藤と申します。

採用試験が終わり、ほっと一息ついているところでしょうか。4月からの新たな生活に向けて、配属先や業務内容、職場の雰囲気なども気になるところかと思います。

そこで、「**福島県保健師通信**」では、福島県で活躍する保健師の業務や各職場の様子などをお届けしていきます。

今回は、Vol.1 として、統括保健師からのメッセージと福島県庁内で働く保健師の業務についてご紹介します。

## ～統括保健師からのメッセージ～

### 新たに福島県の保健師になる皆さんへ

保健師は地域住民の健康を守る専門職です。私たち福島県の保健師、131人は「福島県に暮らす全ての人々が健康で笑顔があふれる暮らしを支えたい」という思いを持ち、健康づくりや精神保健、難病対策、感染症対策、母子保健、災害時における健康支援活動など幅広い分野で、住民や関係機関と連携・協働しながら取組を進めています。



急速に少子高齢化が進む中、ライフスタイルの多様化により、個人の抱える課題や地域のかたちも変化し、社会情勢や地域の健康課題を踏まえた活動が求められています。また、令和6年は能登半島地震による大変な幕開けとなりました。このような健康危機に対して保健師は、県や市町村の垣根を越え、刻々と変化する状況を的確に把握し、今後、起こり得る事態を想定しながら予防の視点を大事に、一丸となって対応しています。

保健師は、時代の要請に合わせ活動していますが、どんな時も、住民一人ひとりが安心・安全な地域生活と自分らしい生き方を選べるよう支え続けることが大切であると感じています。

「そんな保健師になれるかなあ」と不安な気持ちを持たれた方もいらっしゃるかもしれませんが、安心してください！福島県では「福島県自治体保健師の現任教育指針」（2022年3月改訂）に基づき、福島県の自治体で働く保健師が目指す保健師像に向けて、一人ひとりの成長に寄り添ったきめ細かな人材育成を行っています。

皆さん、地域に暮らす人々の健康を守る専門職として、ぜひ私たちと一緒に働きましょう！  
お待ちしております。

福島県健康づくり推進課主幹（統括保健師） 前田 香

## ～福島県の自治体で働く保健師が目指す保健師像～

地域に責任を持ち、常に生活者の視点で住民の声に耳を傾け、住民の力を信じてあきらめず、住民にとって身近で信頼される存在であり続けることを基礎として、一人ひとりに寄り添い、その生活と健康と命を守ることができる保健師

各圏域の県及び市町村保健師から出された意見を集約し「目指す保健師像」を決定しました

## 県庁内保健師の業務

高齢福祉課	ケアマネージャーの養成、認知症施策(若年性認知症含む)、地域リハビリテーション支援体制整備事業に関すること
障がい福祉課	自殺対策、心のケア等の精神保健、難病対策に関すること
健康づくり推進課	「みんなでチャレンジ！減塩・禁煙・脱肥満」をスローガンとした県民の健康長寿の推進に関すること
感染症対策課	感染症対策に関すること
医療人材対策室	看護師等医療関係職種の確保・育成・資質向上等に関すること
子育て支援課	母子保健、女性の健康支援に関すること
福利厚生室	職員の心身の健康管理に関すること
保健福祉総務課	災害対応等のつなぎ役や研修企画などに関すること
教育庁福利課	教職員の健康管理、健康づくり等に関すること

## 県庁内保健師の様子

責任があり大変と感じる業務もありますが、県の保健師だからこそ経験できる業務が多くあります。

保健師としてのスキルアップはもちろん、家庭訪問や多くの関係者の皆様との関わりを通して、人としても成長できる職場です。

保健師に限らず、困ったときには、一緒に悩んでくれる上司や同僚がいます。

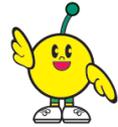
皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしております。



次回は、保健福祉事務所の業務について紹介します♪

担当 福島県保健福祉総務課  
副主任保健技師 佐藤成美  
☎024-521-7217

# 福島県保健師通信 Vol.2



皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。福島県庁保健福祉総務課の佐藤です。

今回は、保健師通信 Vol.1 でお知らせしましたとおり、保健師が多く配置されている保健福祉事務所の仕事についてご紹介するとともに、管理職として活躍している保健師からのメッセージをお届けします♪

## ～保健師管理職からのメッセージ～

### 令和7年度、新たに福島県の保健師になる皆さんへ



私は保健師になって34年になります。これから入庁する皆さんからすれば、想像もつかないくらい長い間、保健師をしています。(笑)でも、新任保健師(採用から5年目まで)時代のことは今でも鮮明に覚えていますし、今の自分の土台をつくる大切な時期だったと思っています。

先輩保健師からよく、保健師としてどんなことを大切にしてきたのかと聞かれることがあります。私からのメッセージとして、そこにつながる保健師1年目の忘れられない経験をお伝えしたいと思います。

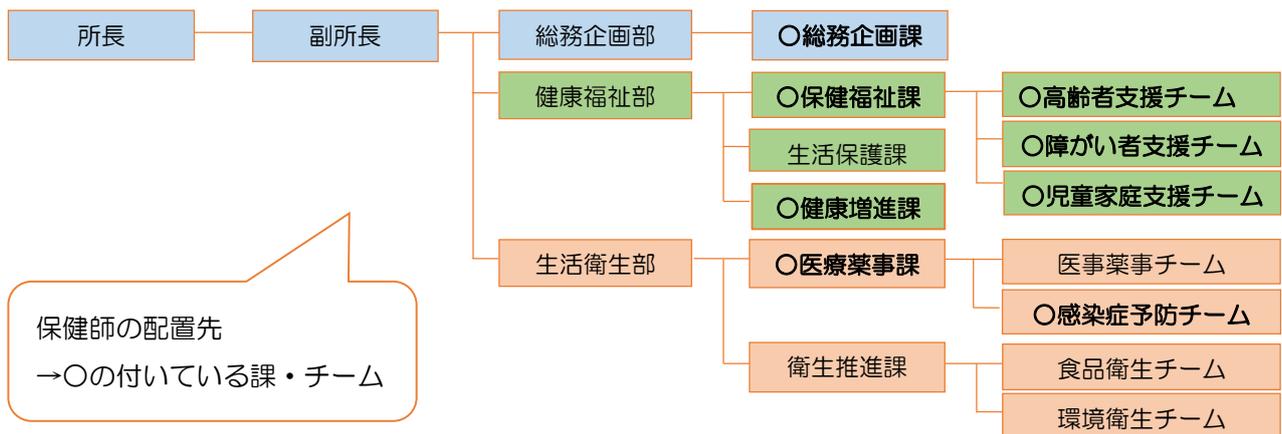
生活保護を受けている結核患者さんのところへ家庭訪問に行った時のことです。その方は私のためにお茶を準備してくれていました。でも家庭訪問に慣れない私は、療養状況の確認や服薬指導をすることに精一杯でお茶に手をつけませんでした。自分の訪問の目的が果たせたとほっとしたとたん、その方から強烈な一言。「結核患者が入れたお茶なんか飲めねえんだべ」といって冷めたお茶をバツと庭に捨てたのです。もちろん私にはそんな気持ちはなく、ただただ必死だったただけなのに。私に足りなかったのは何だったのか。訪ねてくる人もいない中で私の訪問を楽しみにして、おもてなししようとしてくれていたのでは?感染を怖がっていると思われた?保健所に戻ってから先輩保健師に報告したところ、皆さん一緒に考えてくれました。私は自分本位の関わりをしてその方の思いに寄り添っていなかったんだと反省しました。私はその経験から、まず人の行動や話しの背景にある思いを理解し、しっかり受け止めようと思うようになり、保健師活動をしていく上でとても大切にしていることです。

皆さんも保健師活動を通して様々な経験(成功も失敗も)をしてください。私たち先輩保健師は皆さんの経験に意味づけし、皆さんがその経験を通して成長を実感できるようにしっかりサポートしていきます。

来年度、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。福島県の保健師としてともに育ちあいましょう。

福島県健康づくり推進課 課長 本田あゆみ

## <保健福祉事務所の組織>



## <各配置先の役割>

### 総務企画課

- ・保健福祉事務所、保健所機能強化の推進役
- ・保健医療福祉活動の推進、市町村支援、人材育成及び広域連携・調整における総合調整等を行う

→具体的には、

- \* 地域保健医療福祉協議会の開催
- \* 保健師現任教育の実施

### 高齢者支援チーム

- ・地域包括ケアシステム構築に向けた人材育成、関係機関・専門職団体のネットワークづくり、市町村支援を行う
- ・高齢者が安心して暮らせる環境整備の推進

→具体的には、

- \* 地域支援事業担当者情報交換会の開催
- \* 市町村への技術的助言、研修会実施

### 障がい者支援チーム

- ・関係機関と連携しながら、心の問題の予防と早期発見・早期対応など、総合的な心のケア対策の推進
- ・精神障がい者が自ら望む地域で暮らせる社会づくりの推進

→具体的には、

- \* 支援者研修会、ゲートキーパー養成研修
- \* ひきこもり・アルコール・うつなどの講演会や家族教室の開催

### 児童家庭支援チーム

- ・市町村の母子保健活動への技術的支援
- ・長期療養児等の在宅支援
- ・関係機関のネットワーク構築による地域の子育て支援体制の推進

→具体的には、

- \* 慢性疾患児家族交流会の開催
- \* 発達障がい児支援者スキルアップ研修会の開催

### 健康増進課

- ・食・運動・社会参加による健康長寿の推進
- ・難病患者や家族が安心して療養できるよう支援体制の整備・充実を図る
- ・東日本大震災により被災した方への健康支援

→具体的には、

- \* 健康長寿サポーターの養成や県民への普及啓発
- \* 難病患者や家族への訪問、来所相談
- \* 避難者への訪問による個別支援、サロンでの健康教室の開催

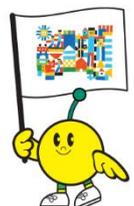
### 感染症予防チーム

- ・地域における感染症対策の拠点を担う
- ・市町村、医療機関、社会施設等に対する感染症予防の支援
- \* 感染症情報の収集・分析

→具体的には、

- \* 結核等の患者発生に伴う調査、相談対応
- \* HIV・梅毒検査の実施及び電話や来所による相談
- \* 個人防護具の着脱訓練

今回は、各保健福祉事務所の紹介をお届けします♪





# 福島県保健師通信 Vol.3

## 県北保健福祉事務所

令和7年度福島県保健師に合格おめでとうございます☆

今回の保健師通信では、**県北保健福祉事務所** についてご紹介させていただきます!!

もも、りんご、なし等  
全国有数の果樹地帯  
フルーツライン

トロリと柔らかい  
美味しいあんぼ柿

岳温泉、土湯温泉、  
高湯温泉、飯坂温泉な  
どの名湯がたくさん

吾妻・安達太良連峰、  
阿武隈山地の豊かな自然が織りなす  
美しい景観やスカイライン等の観光道路

人口:447,712人  
(令和6年4月1日現在)  
県全体の約25.5%  
を占めています

二本松の提灯祭り

県北地域の市町村は、4市3町1村  
(計8市町村)で構成されています☆  
H30年～福島市は中核市になりましたが、  
福島市も含め、管内市町村の保健師さん達と  
連携を図りながら、保健活動を行っています😊

- ◇ 所内保健師は16名、うち9名が新任期(1～5年目)の保健師さんです。
- ◇ 看護職経験を経て活躍している保健師さんも多く、新任期では9名中3名の保健師さんが看護職としての経験をし、入職しています。
- ◇ 新任期保健師さんの教育は、先輩保健師がマンツーマンで教えてくれる「プリセプターシップ」を取っているため、年間を通じた指導が受けられて安心です\*
- ◇ その他年間を通して様々な勉強会・研修会を行っています!

**所内保健師の現任教育**

所内保健師をはじめとする専門職の資質の向上を目的として保健師、歯科衛生士、栄養士等が定期的に集まり、各課の業務内容の共有や情報交換、研究発表や災害対応に関する勉強会等を行っています!

所内研修なので、和気藹々と楽しく勉強しています♪

**市町村保健師現任教育研修会**

今年度より「地区診断研修会」を再開し、新任期保健師全員がそれぞれのテーマを掲げて「地区診断」を実施しています。

すすめていく中で困った際には、プリセプター(先輩)保健師と一緒に考え、時にはアドバイスを受けながら安心して取り組むことができる体制がとられています。

また、今年度は年3回、管内市町村の新任期保健師との情報交換や交流を図りながら取り組む予定です☆

**統括保健師よりメッセージ**

☆当事務所では、若手、中堅期、ベテランの保健師がみんな一緒にキラキラした眼差しで活動ができることを目指して現任教育に取り組んでいます。新人教育体制もしっかり整えていますので、県保健師としての第一歩を踏み出す皆さんを全力で応援します!

☆県の保健師は異動がありますが、それぞれの地域での出会いや経験を大切に、さまざまな職種、関係機関の皆さんとも繋がることのできる、そんな強みがあると思っています。

皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています♪

裏面には、所内の保健師さんたちが在籍する各課・各チームの業務内容についての紹介があります♪

# 県北地域を守る保健師レンジャー



**健康増進課** 難病患者さんがご家族とともに安心して地域で療養生活が送れるよう、家庭訪問のほか、医療・保健・福祉等の多職種と連携しながら支援を行っています。また、「みんなでチャレンジ！減塩・禁煙・脱肥満」のスローガンのもと、市町村や職域保健の関係機関とともに健康づくりや生活習慣病の重症化予防に取り組んでいます。

**児童家庭支援チーム** 小児慢性特定疾病のお子さんの家庭訪問や相談・交流会を通して、療養生活の支援を行っています。また、不妊治療を受けている方からの相談対応や発達障がい児に携わる支援者向けの研修会を開催しています。



**障がい者支援チーム** 精神面での不調を抱える人やそのご家族からの相談を受け、市町村や関係機関と連携しながら、家庭訪問等の個別支援をしています。緊急対応から長期的な視点での支援、家族教室や公開講座の開催等、幅広い業務に取り組んでいます。

**高齢者支援チーム** 高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活ができるよう、多職種が集まり支援について助言を行う会議や、高齢者が地域の支え合いの中で生活できるよう支援する事業等の市町村が実施する取組に対して、アドバイザー（専門職）と協働して支援を行っています。



**感染症予防チーム** 市町村、医療機関、社会福祉施設等と連携しながら、感染症予防や感染症発生時の蔓延防止に取り組み、地域の安全を守っています。また、感染症に関する知識を広い世代に普及させるために街頭キャンペーンやニュースレター、インスタグラム等で情報を発信しています。

**総務企画課** 保健師や管理栄養士等の現任教育研修を企画し、新任保健師等が保健活動の知識や専門性を高められるよう研修会を開催しています。学生（医師・保健師・看護師・助産師・栄養士等）実習を受け入れ、効果的な実習プログラムを作成し人材育成も行っています。



## 中堅保健師のとある1日～時短勤務 version～

時間	業務	詳細内容
9:00～10:00	始業～メールチェック・関係機関連絡	市町村などの関係機関と電話やメールで密に連絡調整しながら業務を進めます。
11:00	不妊治療費助成申請事務	体調を伺いながら申請書の受付・電話で相談対応します。
12:00	お昼休み	
13:00～14:00	会議資料作成・打ち合わせ	各関係医療機関との連絡調整会議を企画し、資料作成。相談しながら、会議の進め方を検討します。
15:00	個別ケース連絡	継続して支援しているケースに電話連絡し、状況確認や家庭訪問のアポ取りをします。
～16:45	報告書作成～終業	窓口や電話相談の対応記録を作成します。

☆就業前の時間の使い方☆  
夫を送り出し、お弁当・夕食のおかずの準備・・・朝の家事、育児は大変💦だけど、30分の部分休業のおかげで、子どもたちの時間がとれ、心に余裕が持てます♡

☆就業後の時間の使い方☆  
買い物→保育園お迎え→帰宅！子どもの習い事がある日は、帰宅後夕食を食べさせ、習い事に送り出します。

One point☆  
急なお休みに備え、仕事は前倒しを心がけ、効率よい仕事の進め方を意識していきます！！



皆さん、採用試験に合格おめでとうございます。  
どのような部署に配属されるか、ドキドキだと思いますが、どのチームに配属されても先輩方が全力でサポートするので安心してください！  
県の保健師は異動があるので、一つの地域に限らず、県全体の住民の方の声を聴きながら、保健活動に携われることが魅力の一つです☆  
ぜひ、私たち県保健師の仲間になってくれたら嬉しいです！  
(上杉・渡辺・遠藤より)

職員一同、皆さんにお会いできるのを  
楽しみにしています☆



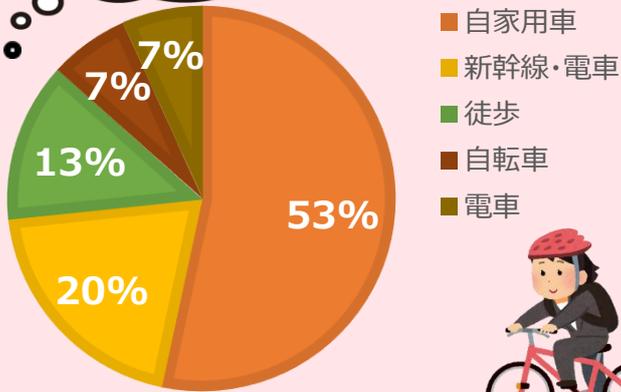


# 福島県県中保健福祉事務所



管轄：12 市町村  
 人口：501,461 人  
 (県全体の 28.6%)  
 職員：医師 1 名 薬剤師 5 名  
 保健師 15 名 栄養士 1 名  
 歯科衛生士 2 名 技師 9 名  
 事務職 25 名など 計 77 名

所内保健師の通勤方法です！  
 県内各地から様々な  
 交通手段で通勤しています！



## 現任教育研修の様子♪



テント設営研修と防護服着脱研修の写真です！

大規模な災害やパンデミックが発生した時に備え、様々な研修を行っています。所内の保健師や関係機関の方々と関わることができる貴重な時間です(^o^)



## 1 年目保健師より

今年度採用され、保健福祉課障がい者支援チームに配属されました。主に精神保健に関する業務を担当しています。電話や来所での相談対応、家族教室の開催、退院後支援に加え、住民向けの講演会の開催も行っています。

事業の運営や相談対応をしていくなかで悩むことも多くありますが、プリセプター保健師やチームのみなさんに優しくサポートしていただきながら、楽しく仕事できています。相談者に誠心誠意向き合うなかで、「相談してよかった」などの言葉をいただいた



ときや、家族教室を機にご家族の問題が少しでもよい方向に向かったときに、やりがいと達成感を感じます。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

## 1 年目保健師の一日



time	task	point
8:30	始業	
9:00	メールチェック	
10:00	電話相談	心の相談窓口となっているので、平常業務と平行して電話があれば対応していきます。
11:00	家族教室準備	家族交流や講師の会場準備をしています。
12:00~ 13:00	お昼休み	近くのご飯屋さんに同期とランチに行くことが多いです※
13:00~ 15:00	家族教室	家族の方が交流しやすいように、内容を考え、運営しています！
16:00	家族教室フィードバック・片付け	参加した家族の状況や家族教室の内容を講師と振り返り、次の機会に家族へフィードバックしています。
17:15	終業	

## 1 年目保健師のプリセプターより一言

プリセプターとして日常業務を通しながら保健師としての業務を指導するほか、プライベートでも相談にのりながら、安心して仕事ができるように心掛けました！  
 新人保健師さんにとって安心して仕事ができる充実した経験になるよう私達プリセプターが  
 支えています！

がんばれ  
 新社会人



## 総務企画課

保健師等専門職を対象に現任教育研修会を企画し実施します。他研修会への参加の調整も行います。学生（医師・保健師・栄養士等）の実習調整や指導、保健・医療・福祉の情報収集、衛生統計調査を行います。

災害対策研修の様子です！



## 健康増進課

難病をお持ちの方への来所・電話などによる相談対応、家庭訪問といった個別支援をはじめ、在宅で生活している患者家族が安心して療養生活が送れるよう、地域の社会資源や医療機関などの関係機関と連携しながら体制整備に取り組んでいます。



食育推進キャンペーン

それぞれの部署における保健師業務の一部をご紹介します！



所内保健師

## 高齢者支援チーム

市町村では高齢者が住み慣れた地域で本人が望む生活を継続できるよう、多職種が集まりケアプランに助言を行う自立支援型地域ケア会議を開催しています。

この会議が一定のレベルを保って開催できるよう、市町村と共に勉強会を開催し、課題の整理、対応策を検討するなど技術的支援を行っています。

## 児童家庭支援チーム

市町村の母子保健活動を円滑に実施できるよう、発達障がい児に携わる支援者向けの研修会などを実施し、技術的支援を行っています。また、不妊治療の相談や、小児慢性特定疾病のお子さんのための勉強・交流会を企画・運営しています。



家族会で作りました♪

## 感染症予防チーム

市町村や医療機関、社会福祉施設等に対する感染症予防の支援や感染症情報の収集・分析を行うなど、地域における感染症対策の技術的拠点としての機能を担っています。世界エイズデーキャンペーンでは、HIV 感染に関する正しい知識の普及啓発活動に取り組んでいます。



世界エイズデーキャンペーン

## 障がい者支援チーム

精神的に悩みを抱えた方の相談対応や心の健康相談等の精神に関する事業を行っています。

また、うつ病やひきこもり、アルコール家族教室も実施しており、悩みを抱えた家族の交流の場や支援する事業も行っています。



自殺対策キャンペーン

## 所長から入職される皆さんへメッセージ

「元気があれば何でもできる！」

県中保健福祉事務所には、保健師等様々な職種の職員がいて、協力しながら「元気、勇気、本気」の3つの気で様々な課題に取り組んでいます。

皆さんと一緒に「向き」「不向き」より「前向き」な仕事ができることを楽しみにしています。

皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています！

仲良く楽しい職場です◎



所内保健師



## 県南保健福祉事務所



令和7年度福島県保健師への合格おめでとうございます😊

今回の保健師通信では、「県南保健福祉事務所」についてご紹介します。

### ～県南地域ってこんなところ～

県南地域は、中通り南部（栃木県や茨城県と隣接）に位置しており、阿武隈川、久慈川などの源流を有し、美しく豊かな自然に恵まれるとともに、古くから奥州の玄関口として知られる白河の関や日本最古の公園と言われる南湖公園など歴史的文化遺産が数多く残されています。



市町村は、1市4町4村（計9市町村）で構成されています。



**人口 133,235 名**

（令和6年4月1日現在）

県全体の7.6%を占めています

**面積 1,233.07 km<sup>2</sup>**

県全体の 8.9%を占めています



### ～県南保健福祉事務所ってこんなところ～

県南保健福祉事務所は、白河市にあり、白河駅や小峰城の近くに位置しています。

白河駅から徒歩約5分の距離なので、県北、県中地域から電車や新幹線で通勤している職員もいます。

令和6年4月1日現在の職員数は72名で、保健師の他に、医師、管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師等の専門職が配置されています。このうち、保健師は13名で、新任期保健師（1～5年目）が6名います。

管内の市町村と共に、協力し合いながら、安心・安全、健やかに過ごせる県南地域を目指し、活動しています。

### ～統括保健師からのメッセージ～



福島県保健師に合格されおめでとうございます。  
県南保健福祉事務所は、県内の保健所の中でも規模が大きすぎず、とても良いところです。  
県職員は異動でその土地や人に慣れるのが大変ですが、一方、色々な地域に行けて保健活動に熱心に取組む保健師に会うこともできます。そして、地域を広くみることができ、業務やキャリアにあわせた研修も充実しています。  
ぜひ、一緒に楽しく働きたいと思います😊



## ～気になる！県南地域の現任教育体制は？～



## ◆プリセプターシップで安心🌸

先輩保健師がマンツーマンで教えてくれる“プリセプターシップ”を取っているのです、年間を通して指導を受けられます。困ったときは、プリセプターが相談にのってくれたり、一緒に考えてくれるので、安心です。

## ◆県南地域全体で進める現任教育体制☆

当所では、県南地域の自治体に所属するすべての専門職が共に育ち、育て合う現任教育を進めています。そのため、県だけではなく、市町村の「同期」「先輩保健師」とも交流がもてます。顔の見える関係ができるとお互いに相談しやすいですね。



この体制の中で、新任期1～3年目の皆さんへは「地域診断研修」を行っています。

地域診断とは、「データ（統計、住民の声等）に基づいて、地域の健康課題を明らかにするとともに、その原因を分析し、解決策を考え、実施すること」で、保健師の活動で大切なものです。この力を習得するために、研修では、自分の担当業務を通して、地域の健康課題を明らかにし、課題の解決に向けた取組を検討していきます。

自分にできるかな？、大変かも？と思われたかもしれませんが、研修は新任期者同士が意見交換したり、プリセプター等の先輩保健師、所長等が1人1人へアドバイスしながら進めるので心配しなくて大丈夫ですよ。

## ～新任期保健師からのメッセージ～

## 【新任期3年目の保健師より】

合格おめでとうございます。

私は臨床経験後に保健師に転職、3年目になります。現在、健康増進課で主に東日本大震災による避難者の健康支援、指定難病に関する業務を行っています。

震災被災者との交流、支援者と連携を図りながら難病患者を支援しており、病院では経験することのなかった業務が多くあり、充実した日々を送っています。

これから保健師として一緒に成長していきましょう！

## 【新任期4年目の保健師より】

私は母子保健を担当しており、なかでも病気や障がいをもつお子さんに対し、家庭訪問や面談などの個別支援、学習会・交流会の企画をしています。また、地域の保育士さん向けに発達障がいを持つお子さんへの関わり方を学ぶ研修会の企画などを行っています。業務を進めるなかで悩むこともありますが、上司や先輩が相談に乗ってくださり、アドバイスをいただけるので、毎日学びながら仕事をしています。

当所では現任教育で地域診断を行います。地域診断を通して地域の現状や強み、課題を知り、その解決に向けた方法を自分の業務と照らし合わせながら考えることができ、アセスメント能力や地域を診る力を育てることができます。

私は今、県南地域に住んでいますが、ラーメンや蕎麦が美味しく、お洒落なカフェや老舗のお菓子屋さんが沢山あり、私生活も楽しめる環境です！

はじめての仕事、環境には不安を感じることもあると思いますが、仕事とプライベートのオンオフを大事にしながら一緒にお仕事頑張りましょう。

県の保健師の魅力の1つは、県内の様々な地域に行き、その地域のことを知って、楽しめることです。

お昼休みには小峰城の周りを散歩してリフレッシュしたり、白河だるまのガチャガチャを回してみたり…

白河ラーメンやだるまバーガーなど美味しいものも食べたり…、楽しみ方は十人十色。

自分流の楽しみ方を見つけてみてください♪



職員一同、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！！

お待ちしております☺



魅力がたくさん会津地方♪

#鶴ヶ城  
(会津若松市)



#三ノ倉高原の  
ひまわり  
(喜多方市)



#長床の大銀杏  
(喜多方市)



#桜並木  
(猪苗代町)



#日本酒



## 事務所の紹介 会津地域・会津保健福祉事務所について

当事務所が所管する会津地域は、新潟県、山形県に隣接した福島県の北西部に位置し、会津若松市、喜多方市の2市及び耶麻郡・河沼郡・大沼郡の8町3村から構成されています。

会津地域の面積は、東京都や神奈川県より広い3,079.05 km<sup>2</sup>であり、そのうち森林面積が約74%を占めている緑豊かな山々に囲まれた自然が美しい地域です。

会津地域では65歳以上の老年人口割合が37%を超えているとともに、老年人口割合が50%を超えている自治体もあり、高齢化が急速に進行している状況で、きめ細やかな地域支援が求められています。

令和6年9月9日現在、職員数は103名で、保健師の他に医師、獣医師、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士等の専門職が配置されています。そのうち保健師は26名で、新任保健師(採用1～5年目)が13名います。また男性保健師も3名働いています。

私たちはこれからも会津管内市町村の保健師と共に、話し合い、協力して健康な会津地域を目指していきます。



#会津保健福祉事務所管内 #2市8町3村



### ～所長からメッセージ～

会津保健福祉事務所  
所長 笹原 賢司



皆さん 合格おめでとございます。胸中、希望と不安でいっぱいのこととお察しします。

ご安心ください。福島県では、「プリセプターシップ」が確立されており、先輩保健師からの助言を随時受けられる仕組みとなっております。公私ともに相談できる頼もしい先輩方です。

前例踏襲を漫然と繰り返す組織に進歩はありません。皆さんの新人ならではの「気づき」を大切にさせていただきたいと思います。「この仕事は省略できるのではないか。」とか、「ここを工夫すればもっと良くなるのではないか」など、遠慮なく指摘していただきたいと思います。

保健師の仕事の本質は、「見る・つなぐ・動かす」と言われます。ぜひ実際仕事を進めていく中で体感していただければと思います。

歴史と文化が薫るこの会津の地で、ご一緒できることを楽しみにしております。住民の皆様の幸福のため、ともに邁進してまいりましょう！



## ～保健師業務の紹介～

### 障がい者支援チーム

様々な機関と連携し、精神的な悩みや障がいを抱えた方への支援や安心して生活できる地域づくりに取り組んでいます。

### 児童家庭支援チーム

市町村が母子保健活動を円滑に実施できるよう会議や研修会を実施しています。また、不妊治療の相談対応や小児慢性特定疾病をもつお子さんや家族のための交流会を企画・運営しています。

### 健康増進課

難病の方の相談対応や家庭訪問、患者会支援を行っています。さらに職場で働く方々の健康づくり支援等、幅広い業務を行っています。

### 感染症予防チーム

感染症予防の支援や感染症情報の収集・分析を行っています。感染症発生時には積極的疫学調査や接触者健診を実施しています。

### 高齢者支援チーム

市町村職員等への研修や住民向けイベントでの普及啓発活動を通し、住み慣れた環境で高齢者本人や家族が望む生活を継続できる地域づくりに向けた取り組みを行っています。

### 総務企画課

保健師等専門職向けの研修会の企画・運営をします。また、1～5年目の新任期保健師のスキルアップのため、サポートしています。他に、学生実習の調整・受入れを行っています。

## ～保健師としてのやりがい・楽しさ～

県保健師は県内各市町村の特徴を理解でき、その特徴に合わせた事業を企画・実行できることが魅力です。また、関係機関と協働して訪問したり、研修会を開催することができるのはやりがいがあります！

県の保健師は異動があり、初めは新しい土地や担当業務に不安を感じることもありますが、先輩や同僚は親切な方が多いためとても楽しいです。たくさん頼って大丈夫です！

県の保健師は異動があり大変な部分もありますが、県内の様々な地域を知り、地域の特色を踏まえた業務を沢山経験できるのはやりがいだと思います。地域の住民も優しい人達ばかりで、方言や郷土料理等を沢山教えてくださいます(^ ^)/



### \* 県の保健師は何をしているか

わからないと思うこともあるかもしれませんが、私は精神疾患を持っている方のご自宅に訪問したり、家族教室を開催したり、さらに地域の事業所や当事者達と芋煮会を開催したりなんてこともあります。県と市町村は仕事が完全に別々というわけではなく市町村の保健師さん達ともベテランから若手まで相談しあいながら楽しく仕事しています◎



会津地区は美味しいごはんが沢山あることや季節に応じたスポーツ等が沢山あり楽しいこと盛りだくさんです◎

みなさんに会えることを楽しみにしています♪



# 南会津保健福祉事務所

## 南会津保健所 会津児童相談所南会津相談室



只見町 下郷町  
南会津町  
檜枝岐村

### 南会津地域

面積 2,341.64 km<sup>2</sup>  
(うち約93%が森林)

人口 21,632人  
(令和6年8月1日現在)

事務所が所在する南会津町の田島地域以外は国指定の“**特別豪雪地帯**”となっており冬期は銀世界が広がります。

田島祇園祭や檜枝岐歌舞伎などの伝統文化、大内宿や会津高原スキー場などの観光スポットがあります。さらに、尾瀬国立公園や只見ユネスコパークなどもあり、自然豊かな地域で、四季折々の景色を見ることができます。

# 南会津保健福祉事務所の特徴

## 1 健康づくり業務を3課で分担

医療薬事課  
難病患者支援

### 保健福祉課

栄養・食環境、  
歯と口腔、がん検診

### 総務企画課

たばこ対策、職域保健、健康情報、  
CKD(慢性腎臓病に関すること)

## 2 一人ひとりが幅広く業務を担当

## 3 児童相談所相談室がある

当所の職員数34名(うち保健師7名)  
(令和6年9月1日現在)

私は主に精神保健や歯科保健、児童福祉の業務を担当しています。精神保健では住民の方の心の悩みを聞いたり、必要に応じて家庭訪問をしたりしています。歯科保健では、小中学校でのフッ化物洗口を推進するため、関係機関と連携して管内住民の健康の保持増進に取り組んでいます。

様々な分野の業務に携わることは、自分の興味関心を広げるだけではなく、地域住民の健康課題解決を目指す保健師にとって貴重な経験になると考えています。また、これらの業務を一人で担当しているのではなく、みんなで協力して取り組んでいるため、新採用の方でも安心して働くことができます！皆さんとお仕事をする中で私自身も視野を広げていきたいと思っています。



皆さんと一緒に  
お仕事のできる日を  
楽しみにしています！

職場の仲間と一緒にお祭りに参加したり、冬季にはスノーボードに行ったり、私生活でも南会津を満喫しています！

県の保健師は職場（人事）異動がありますが、地域をより広域的な視点でみることや、いろいろな地域に暮らす人とのつながりを肌で感じながらお仕事できるところが魅力だと思います。

# 相双保健福祉事務所

福島県保健師採用試験に合格おめでとうございます!

～今回の保健師通信では【相双保健福祉事務所】についてご紹介します～

## ～相双地域ってこんなところですよ!～

当所が管轄する相双地域は、福島県の沿岸部に位置し、相馬市、南相馬市、相馬郡、双葉郡の2市7町3村の12市町村で構成されています。太平洋の海原や阿武隈の山並み等豊かな自然のある温暖な地域となっています。

平成23年に起きた東日本大震災及び、原発事故により甚大な被害を受けましたが、避難指示解除が進み、被災市町村では新たなまちづくりが進みつつあります。そして、令和4年度には、避難していた全市町村の役場機能が元の所在に戻りました。

他方、未だ約2万6千人の住民が県内外で避難生活を余儀なくされており、帰還された方や避難先で生活される方、全ての地域住民の健康を守っていくことを重要課題として、職員一丸となって取り組んでいます。



### ※【いわき出張所】とは?

いわき市に避難している管内住民の健康及び市町村の支援のために、平成24年から設置している出張所です。

## ～先輩方の声～

私は医療薬事課の感染症予防チームで、主に結核の担当をしています。具体的には、結核の患者様の服薬支援や結核接触者健康診断などを行っており、患者様や御家族が、結核の病気や服薬の重要性について正しく理解し、治療を確実に継続できるよう、医療機関等と連携しながら支援を行っています。

また、結核だけではなく、感染症発生時の疫学調査や感染症診査協議会の運営といった業務にも取り組んでいます。

感染拡大を防ぐために迅速かつ適切な対応が求められるため、戸惑いや難しさを感じることもありますが、先輩保健師や上司が優しく相談に乗ってくださり、手厚く指導してくださるので、日々多くのことを学ばせていただいています。



菅野保健技師(令和6年度入庁)



國分保健技師(令和6年度入庁)

私は児童家庭支援チームで、主に小児慢性特定疾病医療費支援の申請対応や相談対応、家庭訪問等を行っています。病気を抱えるお子さんとその御家族に対して、お話を伺いながら、何をすることができるのか考えながら支援しています。また、自分一人ではなく、一緒に考えてくださる先輩や関係機関の方々に支えられながら業務に取り組んでいます。

昨年入職が決まり、自分はどこに配属になるのか、どのような業務に携わることになるのか、ドキドキしていたことを思い出します。いざ入職してみると、優しい先輩方や同僚に囲まれ、毎日とても楽しく働くことができています。

皆さんまだまだ国家試験など卒業するまで大変なこともあるかと思いますが、今まで努力してきた自分を信じて頑張ってください。応援しています。

いわき出張所では、相双地域からいわき市へ避難されている方々の健康支援を行っています。

私は主に母子保健を担当し、乳幼児健診や個別相談会の運営、家庭訪問を実施しています。

初めは想像していた保健所業務とは違っていたため不安がありましたが、避難されている方々の話から生活状況を聞き取り、必要な支援を行うなど、ここでしかできない業務も多く、とても充実した日々を送っています。

また、周りには優しく経験豊かな先輩方がいるので、気になることがあればすぐに相談することができ、楽しく学びながら仕事をしています^^



渡邊保健技師(令和6年度入庁)

## ～人材育成の取組紹介～

入職にあたって、入職後のサポートってどんなことがあるのか…そんな疑問もあるかと思います！

新任者をサポートする体制として、福島県では、プリセプターシップ※による日常業務のサポート、各保健福祉事務所では、保健師育成のための研修を実施しています。

※【プリセプターシップ】とは？

指導者（プリセプター）が新任者とペアを組み、新任者の経験や能力に合わせて、到達目標や教育期間を決めて段階的に指導する方法です。



〈研修の様子〉

グループワーク等も行っており、市町村との交流の場にもなっています！

## ～当所での取組～

### 実践力 Up 事例検討会

当所では、互いに実践力を高め合い、住民へのより良い支援につなげていくために、本所といわき出張所の保健師や管理栄養士、歯科衛生士等の技術職が集まり、事例検討会を実施しています。

この検討会で、個別事例の支援について共有し、情報の整理やアセスメント、具体的な支援策の検討を行うことによって、悩みの解決や新たな気づき、学びを得ることができています。

事例提供者になると、自分が関わっている対象者の情報や今までの支援について、振り返るきっかけになります。また事例検討中は、所内の保健師や多職種で悩んだり、色々な質問や助言をいただいたりするので、「参加者みんなで考えてくれている」と感じ、励みにもなります。

対象者と関わる中で「保健師として、どんな支援が出来るだろう」と悩んでいても、所内全体で丁寧に事例検討する中で、自分では思い浮かばなかった視点や支援方法等について沢山の意見を聞き、今後の支援に活かすことが出来ていると感じています。



菅野副主任保健技師(令和3年度入庁)

🌸みなさんと一緒にお仕事ができることを楽しみにしています🌸